

こえに だして よみましょう。

飴あめだま ④

にいみなんきち
新美南吉

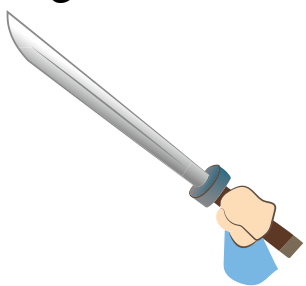
と行ってきかせても、子どもたちは、ちようだいよオ、ちようだいよオ、とだだをこねました。

いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり眼めをあけて、子どもたちがせがむのをみていました。

お母かあさんはおどろきました。いねむりをじやまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがない、と思おもいました。

「おとなしくしておいで。」

と、お母かあさんは子どもたちをなだめしました。



けれど子どもたちはききませんでした。

するとさむらいが、すらりと刀かたなをぬいて、お母かあさんと子どもたちのまえにやってきました。